【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【公表番号】特表2010-505897(P2010-505897A)
【公表日】平成22年2月25日(2010.2.25)
【年通号数】公開・登録公報2010-008
【出願番号】特願2009-531778(P2009-531778)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ｃ１２Ｑ　 1/48　(2006.01)
Ｃ１２Ｑ　 1/04　(2006.01)
Ｃ１２Ｑ　 1/68　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/16　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/7088　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　48/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/395　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/7105　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/711　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/36　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/14　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/15　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/50　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/00
Ｃ１２Ｑ　 1/48　Ｚ
Ｃ１２Ｑ　 1/04
Ｃ１２Ｑ　 1/68　Ａ
Ａ６１Ｐ　31/16
Ａ６１Ｋ　31/7088
Ａ６１Ｋ　48/00
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｄ
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｓ
Ａ６１Ｐ　43/00　１１１
Ａ６１Ｋ　37/02
Ａ６１Ｋ　31/7105
Ａ６１Ｋ　31/711
Ａ６１Ｐ　11/00
Ａ６１Ｋ　47/36
Ａ６１Ｋ　 9/14
Ｇ０１Ｎ　33/15　Ｚ
Ｇ０１Ｎ　33/50　Ｚ
Ｃ１２Ｎ　15/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成22年9月6日(2010.9.6)

【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
インフルエンザウィルス複製の少なくとも１種のインヒビターを、場合により、医薬的に許容可能な担体、助剤、希釈剤又は／及び添加剤と一緒に含有する、インフルエンザウィルス感染の予防、緩和又は／及び治療のための医薬組成物。
【請求項２】
キナーゼの少なくとも１種のモジュレーター又は／及びキナーゼ結合ポリペプチドの少なくとも１種のモジュレーターを、場合により、医薬的に許容可能な担体、助剤、希釈剤又は／及び添加剤と一緒に含む、インフルエンザウィルス感染の予防、緩和又は／及び治療のための請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項３】
インフルエンザウィルス感染が、インフルエンザＡウィルス感染、より有利には、プエルトリコ／８／３４株又はトリインフルエンザウィルス単離体、例えばＨ５Ｎ１での感染である、請求項１又は２記載の医薬組成物。
【請求項４】
少なくとも１種のキナーゼ又は／及びキナーゼ結合ポリペプチドが、表１Ａ及び表１Ｂから選択された核酸又は／及び遺伝子によりコードされている、請求項１から３までのいずれか１項記載の医薬組成物。
【請求項５】
少なくとも１種のモジュレーターが、核酸、核酸アナログ、リボザイム、ペプチド、ポリペプチド、抗体及び１０００ダルトンよりも少ない分子量を有する化合物からなる群から選択される、請求項１から４までのいずれか１項記載の医薬組成物。
【請求項６】
少なくとも種のアクチベーターを含有し、この少なくとも１種のアクチベーターが、
（ａ）表１Ａから選択されたヌクレオチド配列又はその断片、又は／及び
（ｂ）少なくとも７０％、有利には少なくとも８０％、より有利には少なくとも９０％（ａ）の配列に同一である断片を含有し、
又は／及び少なくとも１種のアクチベーターが、配列（ａ）又は／及び（ｂ）を含む遺伝子の発現又は／及び遺伝子産物の活性を活性化することができる、請求項１から５までのいずれか１項記載の医薬組成物。
【請求項７】
少なくとも１種のインヒビターを含有し、この少なくとも１種のインヒビターが、
（ａ）表１Ｂ及び４から選択されたヌクレオチド配列又は／及びその断片、又は
（ｂ）少なくとも７０％、有利には少なくとも８０％、より有利には少なくとも９０％（ａ）の配列に同一である配列を含有し、
又は／及び少なくとも１種のインヒビターが、配列（ａ）又は／及び（ｂ）を含む遺伝子の発現又は／及び遺伝子産物の活性を阻害することができる、請求項１から５までのいずれか１項記載の医薬組成物。
【請求項８】
核酸が、（ａ）表２、（ｂ）表４、及び（ｃ）　（ａ）及び（ｂ）の断片の配列から選択されたヌクレオチド配列を含む、請求項５から７までのいずれか１項記載の医薬組成物。
【請求項９】
核酸がＲＮＡ又はＤＮＡである、請求項５から８までのいずれか１項記載の医薬組成物。

【請求項１０】
核酸が、
（ｉ）ＲＮＡ干渉可能なＲＮＡ分子、
（ｉｉ）ＲＮＡ分子（ｉ）の前駆体、又は／及び
（ｉｉｉ）ＲＮＡ分子（ｉ）又は／及び前駆体（ｉｉ）をコードするＤＮＡ分子
である、請求項９記載の医薬組成物。
【請求項１１】
ＲＮＡ分子が、少なくとも１つのヌクレオチドアナログ又は／及びデオキシリボヌクレオチドを含有する、請求項９から１０までのいずれか１項記載の医薬組成物。
【請求項１２】
核酸が、アンチセンス核酸又はアンチセンス核酸をコードするＤＮＡである、請求項９記載の医薬組成物。
【請求項１３】
核酸が、少なくとも１５、有利には少なくとも１７、より有利には少なくとも１９、最も有利には少なくとも２１ヌクレオチドの長さを有する、請求項５から１２までのいずれか１項記載の医薬組成物。
【請求項１４】
抗体が、キナーゼ又は／及びキナーゼ結合ポリペプチドに対して指向している、請求項４記載の医薬組成物。
【請求項１５】
キナーゼ又は／及びキナーゼ結合ポリペプチドの少なくとも１種のモジュレーターの細胞中への、特に肺上皮細胞中への輸送に適している剤を更に含み、その際この更なる剤が有利にはキトサンであり、これが有利にはナノ粒子中に処方されている、請求項１から１４までのいずれか１項記載の医薬組成物。
【請求項１６】
以下の工程、
（ａ）キナーゼ又は／及びキナーゼ結合ポリペプチドを提供する工程、
（ｂ）化合物を（ａ）のキナーゼ又は／及びキナーゼ結合ポリペプチドと接触させる工程、
（ｃ）キナーゼ又は／及びキナーゼ結合ポリペプチドの活性を決定する工程、
（ｄ）キナーゼ又は／及びキナーゼ結合ポリペプチドの活性を調節する化合物を選択する工程
を含む、キナーゼ又は／及びキナーゼ結合ポリペプチドの調節のために適した化合物を同定するためのスクリーニング方法。
【請求項１７】
（Ｉ）インフルエンザウィルスで感染されることができ、かつ、キナーゼ又は／及びキナーゼ結合ポリペプチドを発現することができる細胞又は／及び非ヒト生物を提供する工程、
（ＩＩ）インフルエンザウィルスと、及び、前記キナーゼ又は／及びキナーゼ結合ポリペプチドの発現又は／及び活性を調節することができることが知られている化合物と、（ｉ）の細胞又は／及び生物とを接触させる工程、
（ＩＩＩ）細胞又は／及び生物により産生されるインフルエンザウィルスの量を決定する工程、及び
（ＩＶ）細胞又は／及び生物により産生されるインフルエンザウィルスの量を減少させる化合物を選択する工程を含む、
インフルエンザウィルス感染の予防、緩和又は／及び治療のために適したキナーゼモジュレーターの同定のためのスクリーニング方法。
【請求項１８】
（ｉ）キナーゼ又は／及びキナーゼ結合ポリペプチドを発現することができる細胞又は／及び非ヒト生物を提供する工程、

（ｉｉ）化合物と（ｉ）の細胞又は／及び生物とを接触させる工程、
（ｉｉｉ）キナーゼ又は／及びキナーゼ結合ポリペプチドの量又は／及び活性を決定する工程、及び
（ｉｖ）キナーゼ又は／及びキナーゼ結合ポリペプチドの量又は／及び活性を調節する化合物を選択する工程を含む、
インフルエンザウィルス感染の予防、緩和又は／及び治療のために適した化合物の同定のためのスクリーニング方法。
【請求項１９】
キナーゼ又は／及びキナーゼ結合ポリペプチドが、表１ａ、１ｂ、２及び４から選択される少なくとも１の配列及びこの断片を含有する請求項１６から１８までのいずれか１項記載の方法。
【請求項２０】
（Ａ）インフルエンザウィルスで感染されることができ、かつ遺伝子を発現することができる細胞又は／及び非ヒト生物を提供する工程、その際、遺伝子又は／及びその遺伝子産物は、インフルエンザウィルスの複製を調節することができる、
（Ｂ）インフルエンザウィルスと、及び、（Ａ）の遺伝子又は／及びその遺伝子産物の発現又は／及び活性を調節することができることが知られている化合物と、（Ａ）の細胞又は／及び生物とを接触させる工程、
（Ｃ）細胞又は／及び生物により産生されるインフルエンザウィルスの量を決定する工程、及び
（Ｄ）細胞又は／及び生物により産生されるインフルエンザウィルスの量を減少させる化合物を選択する工程を含む、
インフルエンザウィルス感染の予防、緩和又は／及び治療のために適した化合物の同定のためのスクリーニング方法。
【請求項２１】
ｉ．遺伝子を発現することができる細胞又は／及び非ヒト生物を提供する工程、その際、遺伝子又は／及びその遺伝子産物は、インフルエンザウィルスの複製を調節することができる、
ｉｉ．化合物と、ｉ．の細胞又は／及び生物とを接触させる工程、
ｉｉｉ．（ｉ）の遺伝子の遺伝子産物の量又は／及び活性を決定する工程、及び
ｉｖ．ｉ．の遺伝子産物の量又は／及び活性を調節する化合物を選択する工程を含む、
インフルエンザウィルス感染の予防、緩和又は／及び治療のために適した化合物の同定のためのスクリーニング方法。
【請求項２２】
（１）遺伝子を発現、特に過剰発現又は過少発現することができる細胞又は／及びトランスジェニック非ヒト動物を提供する工程、
（２）インフルエンザウィルスと、（１）の細胞又は／及び生物とを接触させる工程、
（３）前記遺伝子の発現又は／及び活性を調節し、かつ、細胞又は／及び生物により産生されたインフルエンザウィルスの量を決定する工程、及び
（４）発現又は／及び活性が、細胞又は／及び生物により生産されるインフルエンザウィルスの量の減少と正の又は負の相関を示す遺伝子を選択する工程を含む、
インフルエンザウィルス感染の予防、緩和又は／及び治療のためにターゲットとして適した遺伝子の同定のためのスクリーニング方法。
【請求項２３】
遺伝子が、表１ａ、１ｂ、２及び４から選択される少なくとも１の配列及びこの断片を含有する請求項２０から２２までのいずれか１項記載の方法。
【請求項２４】
キナーゼモジュレーター又は／及びキナーゼ結合タンパク質モジュレーターの、インフルエンザウィルス感染の予防、緩和又は／及び予防のための医薬品の製造のための使用。
【請求項２５】

表１ｂ及び４から選択された遺伝子の発現を阻害することができる、又は／及び、その遺伝子産物を阻害することができる、インフルエンザウィルス複製の阻害剤の、インフルエンザウィルス感染の予防、緩和及び／又は予防のための医薬品の製造のための使用。

【請求項２６】

表１ａ、１ｂ、２又は／及び４から選択される遺伝子配列又は／及びヌクレオチド配列を含む核酸及びその断片の、インフルエンザウィルス感染の予防、緩和又は／及び治療のために適した化合物又は／及び標的のためのスクリーニング方法における使用。